

こうざえもんつうしん 講左衛門通信

平成 30 年 1 月 28 日

第 100 号

発行 天台宗忍草山東円寺

〒401-0511

南都留郡忍野村忍草38

☎ 0555-84-4114

『今日は、初不動といって、今年初めての不動明王様の縁日なんじゃ。東円寺の不動明王（江戸時代富士山 1 合目鈴原に祀られていた）については折に触れて紹介しておるが、東円寺と鈴原不動明王とのご縁は、東円寺の歴史からすると 100 数十年程度じゃから、付き合いは短いんじゃよ。ところが、鈴原不動尊が東円寺に遷座（せんざ）すると、昭和 46 年に海沢鉱泉におられた不動明王が遷座し、平成 10 年には、西桂町の知人ぞ知る靈験あらたかな不動明王が遷座したんじゃ。鈴原不動が遷座したときには、不動講という講中ができたんじゃ。しかし、いつの



クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

□癖 でまっすん..

ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)



時代か不動講は消滅してしまったんじゃ。東円寺の初不動尊は交通安全祈願祭として、昭和 40 年代自動車が増え、死亡事故が多発すると、当時の交通安全協会会長の発願で現在のような祈願祭が執り行われるようになったんじゃ。時代は平成に変わり富士山を世界遺産にという動きが活発になり、平成 23 年に富士山は文化遺産となったんじゃ。富士山と関わりの深い仏様は数多く残されておるが、残念なことに護摩供や祈祷が行われる行事は少ないことに憂いを感じ、ご縁あった上原大阿闍梨様にご相談すると、東円寺で祈祷の護摩を焚いてくださることになったんじゃ。』

『そうだったでまっすん。人の記憶は曖昧で、数年前のことも忘れてしまうでまっすん。行事のたびに、歴史を振り返ることは、記憶を風化させないために必要なことでまっすん。』

『本堂向かって右側に三体の不動明王が祀られておる。真ん中に鈴原不動尊（立像）、右側に海沢鉱泉の不動尊（立像）、左側に西桂町の不動尊（座像）が安置されているんじゃ。また、不動明王が背負われている炎（光背）をよく見てほしいんじゃよ。』

『鈴原不動尊と海沢不動尊に、迦楼羅炎（かるらえん）を見ることができるとでまっすん。迦楼羅炎は、インド神話に登場する炎に包まれた神の鳥ガルダを前身とする仏様で、迦楼羅天を意味しているでまっすん。迦楼羅は口から炎を吐き、厄災の現況となる毒蛇や悪龍を食す鳥類の王で、人々の煩惱を喰らう靈鳥とされているでまっすん。不動明王の火炎は、迦楼羅天の吐く炎そのものの姿であることから「迦楼羅炎」と呼ばれ、不浄なものを焼き清める炎とされているでまっすん。』

『現在では、東円寺に不動明王ありと言うほど深い縁で結ばれた、靈験ある不動明王を多く方にお参りしてほしいと思っているんじゃよ。数日前には、草津白根山が噴火したが、予想していない場所からの噴火と聞くと、富士山の噴火が脳裏をかすめた人も多かったのではないかのう・・・災害は、人の力でどうにかなるもではないんじゃ。古より、人々は災害に悩まされ、災害と戦ってきた歴史がある。生きることは苦しみが多いが、その苦しみから少しでも楽になるために祈りがあると思うんじゃよ。祈りによって人々の心は穏やかになれるんじゃないかのう。次回は、八大竜王について話す予定じゃぞ。』

平成 30 年 1 月 28 日（日）午後 1 時～受付

場所 東円寺本堂

午後 2 時より交通安全護摩厳修

『講左衛門通信』は、第 2・第 4 日曜日に発行予定

※お気軽にお問い合わせください